

# 町政を問う!!

9 議員が質問・提案を

## 防災対策

### 佐賀支所の移転計画は

### 現在のところ持っていない



いわよし 岩義 議員  
ふじもと 藤本

**答** 矢野 地域住民課長

新庁舎の設計等調査し、見積もりについても、書庫等の固定についても検討する。

**問** 防災事業で現在計画している事業の進捗は。

**答** 徳廣 情報防災課長

避難空間は30年度に完成予定。避難道と防災倉庫については9割が完成し、避難タワーは予定の6基が完成。

**問** 新庁舎の進捗状況。引越し計画は。

**答** 金子 まちづくり課長

8月末で計画66%に対して62%、4%の遅れは9月中に取り戻す。引越しは1月6日から行い9日からの新庁舎開庁を予定している。新庁舎は11月末に受領の予定。

**問** 震災が起きた場合、仮設住宅の建築が急がれる。建築が早く進むのには用地の確保が大事だ。昨年計画した「黒潮町南海トラフ地震応急機能計画」によると1559戸、率で68%不足している。犠牲者ゼロを目指す町として、住宅が早く建たないことにより、せっかく助かった命を失わせないためにも、用地の確保は重要だ。

災害公営住宅の建築や復興の妨げにならない位置の国営農地や、基盤整備した田畑も含め、地権者や関係機関、県とも協議検討を行い、協定や仮契約等を結び早く確保することが大事では。

**答** 大西町長

復興計画も含め事前の計画がどう機能したか被災地から学び、腰を据えて行う。成果には時間がかかるが着手する。

**問** 避難所の汚物処理の計画ができていない。衛生上も問題があるのではないか。

**答** 徳廣 情報防災課長

避難所の汚物は環境の悪化によって健康を害する可能性がある。現在、詳細な計画はされていない。命をつなぐ重要な対策だと考えており、今後対応を考えて行く。

## 林道昇格

### 作業道を林道に

### ワーキンググループで検討

**問** 本谷から湊川、小川に通ずる作業道は林道規格自動車道3級の道となっている。関係地域も関心を持っており林業振興、災害時の迂回路、ウォーキングコース、地域を悩ます有害鳥獣の駆除活動などにも活用されている。本谷ほか6地区の区長からも林道昇格の要望がなされている。早期昇格はできないか。

**答** 今西 海洋森林課長

実現可能か検討するためにワーキンググループ（作業部会）を新設し現地踏査を行う。

**問** 佐賀支所の移転計画は、支所機能も含め地域防災計画で考えるとのことであったがどのように協議したか。

**答** 大西町長

移転計画は、現在のところ持っていない。

**問** 佐賀支所で天井等の非構造部材の耐震ができていない。天井等の落下で負傷者が出る。と初期行動に支障が出る。対策ができないか。